

さいたま市のお金の使い方

さいたま市をより暮らしやすいまちにするための、今年度の予算が決まりました。どのようにさいたま市のお金を使うのか、その概要と主な取り組みを紹介します。



さいたま市長 清水 勇人

- 東日本の中核都市として、東日本の対流拠点にふさわしい都市機能を充実させます。
- 「スポーツのまち さいたま」の実現に向けて健康増進につながるスポーツ環境を充実させます。
- 子育てを応援し、だれもが健やかに安心して暮らせる環境や、きめ細かで質の高い教育環境を充実させます。

予算総額 1兆66億円

一般会計 5,568億円

福祉、教育、医療、道路や公園の整備など、市のサービスを行うための会計

特別会計 3,118億円

国民健康保険や介護保険など、一般会計とは区別される事業の会計

企業会計 1,380億円

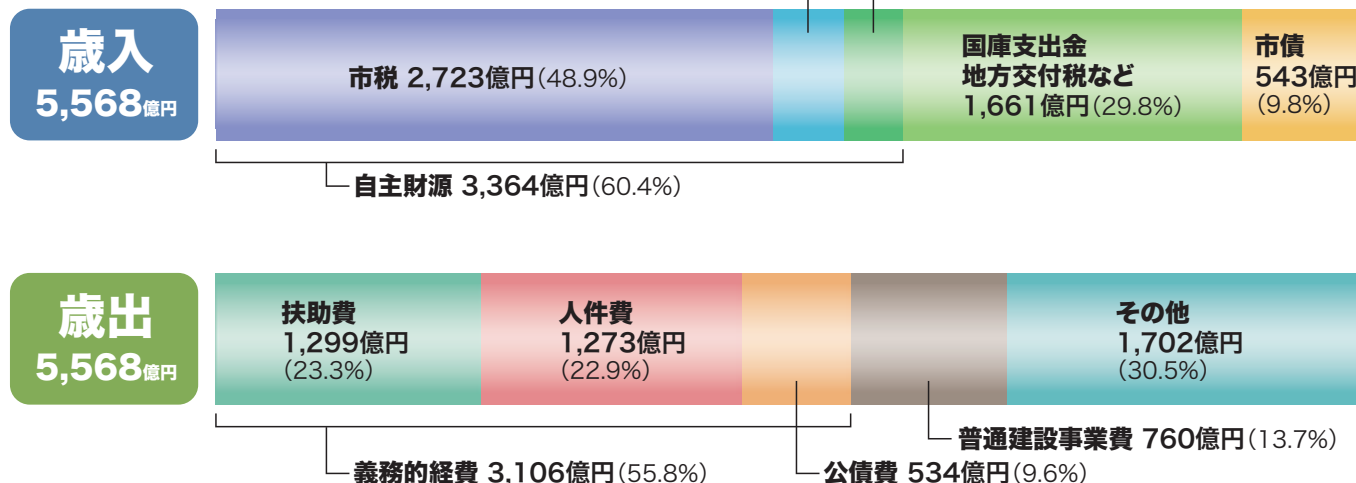
事業の収益で運営している水道、病院、下水道の会計

市民一人あたり 約43万円



※一般会計予算を平成31年3月1日現在の住民基本台帳人口130万3,532人で試算した金額。

◆一般会計の内訳



主な取り組み

環境・アメニティ

●環境未来都市の実現

1億8,827万円 **拡大**

東京2020大会での会場間アクセスを向上させる次世代バスの導入にあわせ、脱炭素型地域交通モデルの構築などを目指します。

●きれいで快適なまちづくり

1億3,874万円 **拡大**

新たに浦和美園駅やさいたま新都心駅など5駅周辺を「路上喫煙禁止区域」に指定し、指定喫煙場所の整備などを行います。



健康・福祉

●高齢となっても暮らしやすい都市づくり

1,559万円 **拡大**

就労やボランティア、余暇活動などの情報を集約して発信する(仮称)セカンドライフ支援センターを開設し、中高年齢層の社会参加を促進します。

●新病院開設に伴う医療機器の整備

64億5,129万円 **拡大**

市立病院新病院を開設して、安定した医療の提供や救命救急センター設置などにより医療体制を強化します。



▲市立病院新病院

●安心して子どもを育てられる環境づくり

6,606万円 **拡大**

放課後児童クラブの開設経費等の一部助成や、学校施設を活用した整備により、児童の受入規模を拡大します。

●私立幼稚園等の預かり保育促進

9億40万円 **拡大**

私立幼稚園等の預かり保育事業の費用を助成するとともに、「子育て支援型幼稚園」の利用者負担の軽減などを行います。



教育・文化・スポーツ

●“スポーツのまち さいたま”の実現

1億2,018万円 **拡大**

気軽にスポーツができる多目的広場やバスケットボールコートを新たに整備します。また、民間の力を最大限に活用した「スポーツシュレ事業」として、女子サッカー等活性化事業を行います。

●東京2020大会への気運醸成

5,473万円 **新規** **拡大**

オリンピック・パラリンピック競技等を体験できるイベントの開催や、東京2020大会フラッグの掲出などを行います。



●心のサポートを推進～SNSを活用した相談窓口～ 1,174万円 **新規**

市立中・中等教育・高等学校の生徒の不安や悩みに対して、SNSを活用した相談を新たに実施します。

主な取り組み

都市基盤・交通

●暮らしの道路・スマイルロードの整備

37億6,616万円 **拡大**

生活道路の排水能力の向上や舗装の再整備などを進めます。

●東日本の対流拠点にふさわしい都市機能の充実

1億3,715万円 **拡大**

東日本の中枢都市としての大宮駅の機能を高め、交通基盤の整備や駅周辺のまちづくりを進めます。



▲整備された大宮駅前のビジョン

産業・経済

●にぎわい交流館いわつきの整備

2億8,560万円 **拡大**

地域活性化拠点として「にぎわい交流館いわつき」を整備し、岩槻の歴史や文化を発信します。

●東京2020大会にむけた観光客誘客

4,746万円 **拡大**

SNSなどを活用したプロモーションを行い、本市や東日本地域に観光客を誘致します。



●東日本連携センターの本格始動 1億3,663万円 **拡大**

東日本連携センターで新たに各地のプロモーションや商談会などを実施し、東日本の食や地域産業の交流・発信・活性化を促進します。

安全・生活基盤

●既存ブロック塀の改善

3,000万円 **新規**

地震で倒壊のおそれがあるブロック塀等を改善するために、除却工事等に係る費用を助成します。

交流・コミュニティ

●自治会への支援・加入促進

2億8,868万円 **拡大**

自治会活動を支援するとともに、「自治会区域図」を整備し、新たにホームページに掲載します。

行財政改革

●ICTを活用した働き方改革の推進

1,828万円 **新規**

事務処理を自動化するソフトウェアロボットの試行導入や保育施設の入所選考にAIを導入するなど、業務の効率化を図ります。

今年度も、市民一人ひとりがしあわせを実感でき、誰もが住んでいることを誇りに思える都市の実現のために、市ではさまざまな取り組みを進めていきます。



さいたま知っ得予算

市の予算や財政状況をイラストを交えて紹介しています。

さいたま知っ得予算 **Q 検索**

詳しくは、財政課 (TEL 829・1153、FAX 829・1974) へ。